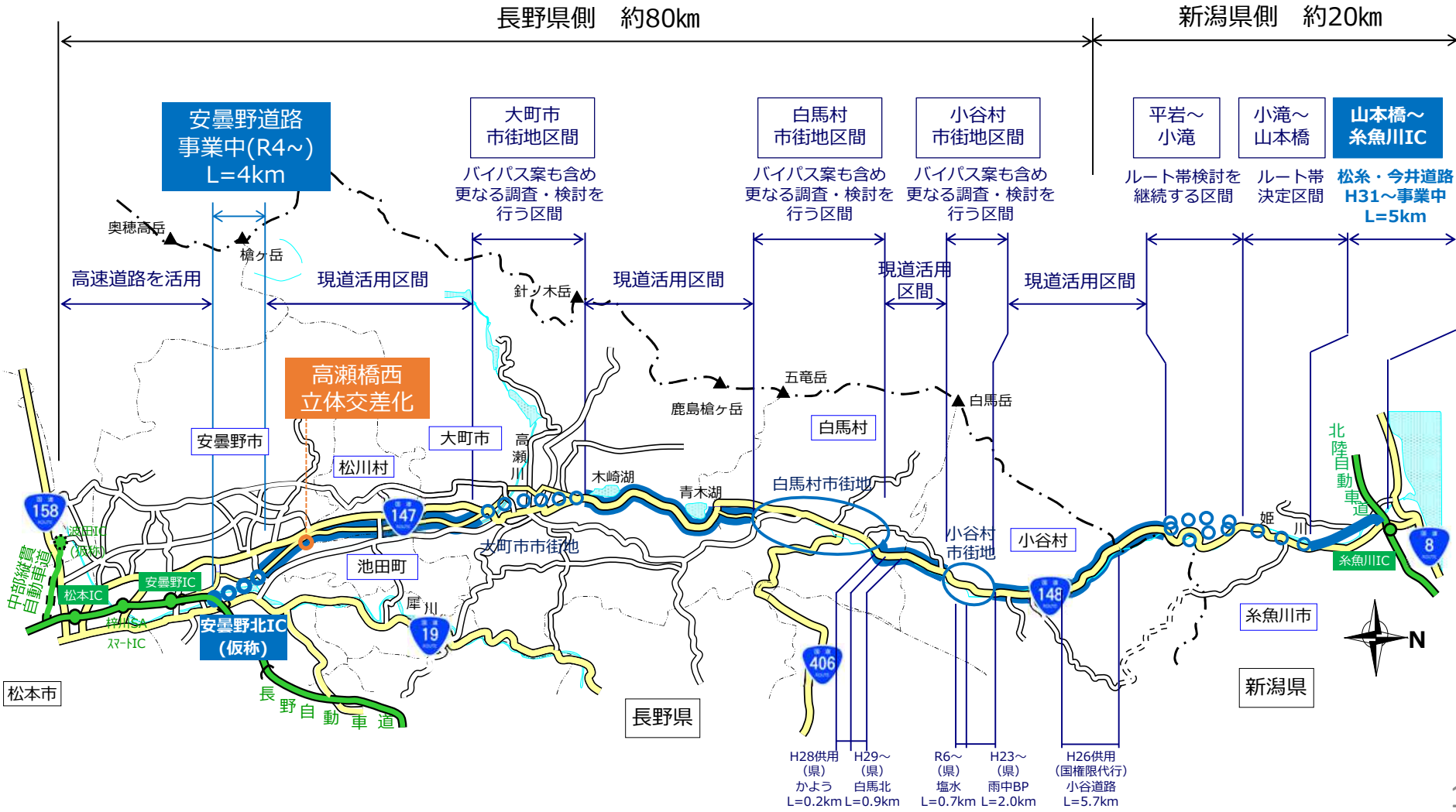


県道有明大町線 高瀬橋西交差点の改良に関する 第2回意見交換会

令和7年6月29日(日) 長野県安曇野建設事務所

松本糸魚川連絡道路（松糸道路） 路線全体 概要図



本日の次第

1. 前回意見交換会の概要
2. 立体交差化に関する検討
3. 測量・設計等の作業予定
4. 今後の進め方
5. 意見交換等

意見交換の主な対象

(閉会后、個別ご意見・ご相談への対応もいたします)

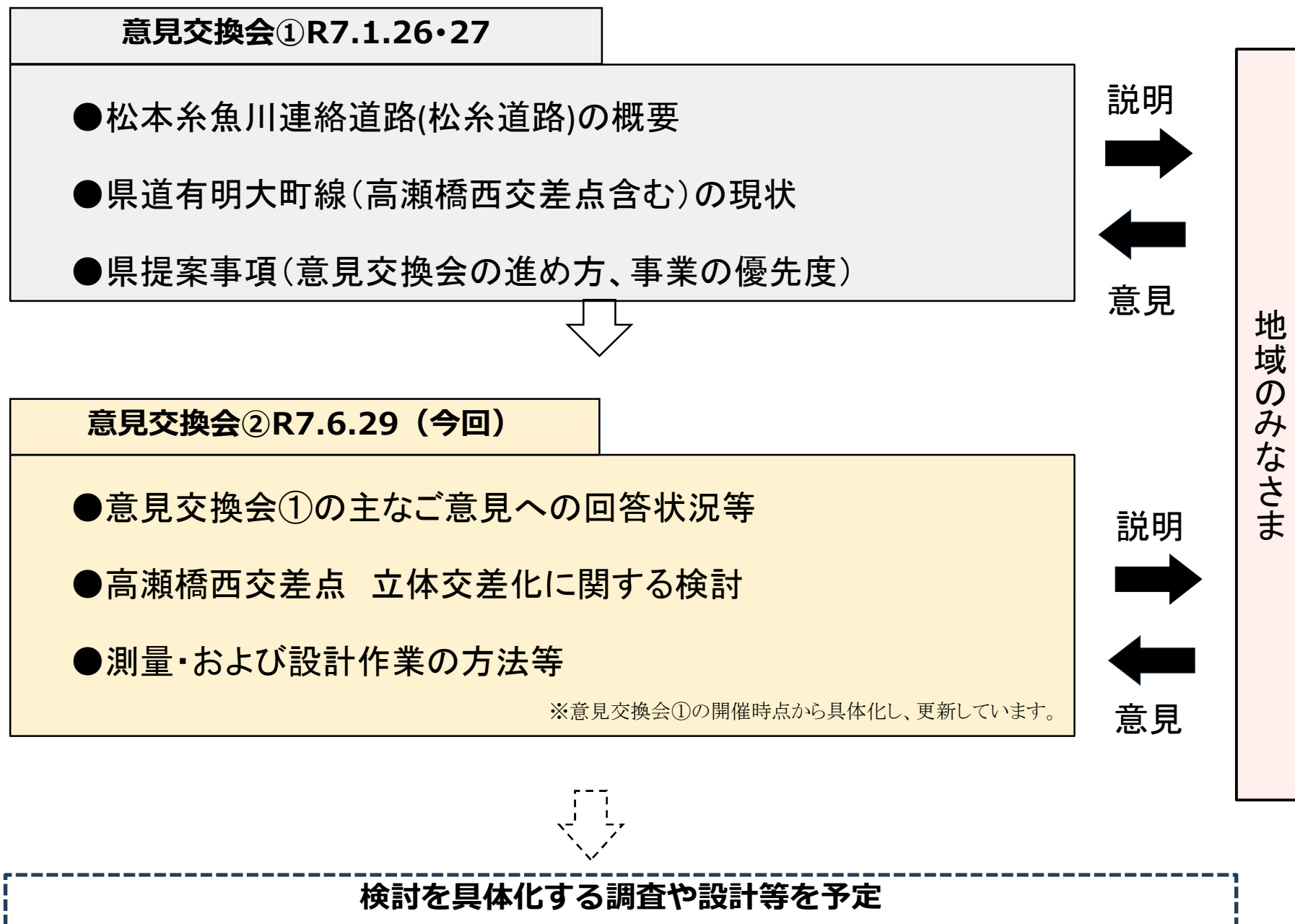
【問い合わせ先】

長野県 安曇野建設事務所 整備課 計画調査係
電話 0263-72-8308 (直通)
メール azumiken-matsuito@pref.nagano.lg.jp
<https://www.pref.nagano.lg.jp/azumiken/matsuito-doro.html>
(右のQRコードをスマートフォンで読み取ると県の松糸道路サイトへアクセスできます)



安曇野市役所 都市建設部 建設整備課 建設政策担当
電話 0263-71-2330 (直通)
メール kensetsu@city.azumino.nagano.jp
<https://www.city.azumino.nagano.jp/soshiki/33/108115.html>

1. 前回意見交換会の概要 — 県からの提案事項(意見交換会の進め方)—



1. 前回意見交換会の概要 — 県からの提案事項(事業の優先度) —

R7.1意見交換会
資料から抜粋

(整備方針として、平成28年1月に高瀬橋西交差点の立体交差化 及び 追越車線設置を公表済み)

○まずは速度低下等に対して整備効果の高い「**高瀬橋西交差点の立体交差化**」を優先的に検討したい



2.立体交差化に関する検討（現時点での暫定整理）

- 立体交差化の方式として、オーバース案とアンダース案が考えられます
- それぞれにメリットやデメリット等があり、地形や交差点形状により適する方式が異なります
- 高瀬橋西の方式は未定ですが、より適する方式等を検討するため測量・設計等が必要となります

凡例

2つの案を項目毎に比較した際に優位な案（暫定）

分野	主な評価の視点	オーバース案	アンダース案
I 交通	交差点の見通し	見通しを阻害する 構造物が多い	見通しを阻害する 構造物が少ない
II 防災	浸水リスク	本線が高い箇所であるため 浸水リスクが低い	本線が低い箇所であるため 浸水リスクが高い
III 環境	景観への影響	(未定)	(未定)
	地形等への影響	(未定)	(未定)
IV 生活	住環境への影響	(未定)	(未定)
V 地域経済	利用し易さ、アクセス性	(ほぼ同等)	(ほぼ同等)
VI 事業性	費用・施工性等	(未定)	(未定)

■参考：安曇野道路のルート帯選定に用いた項目等

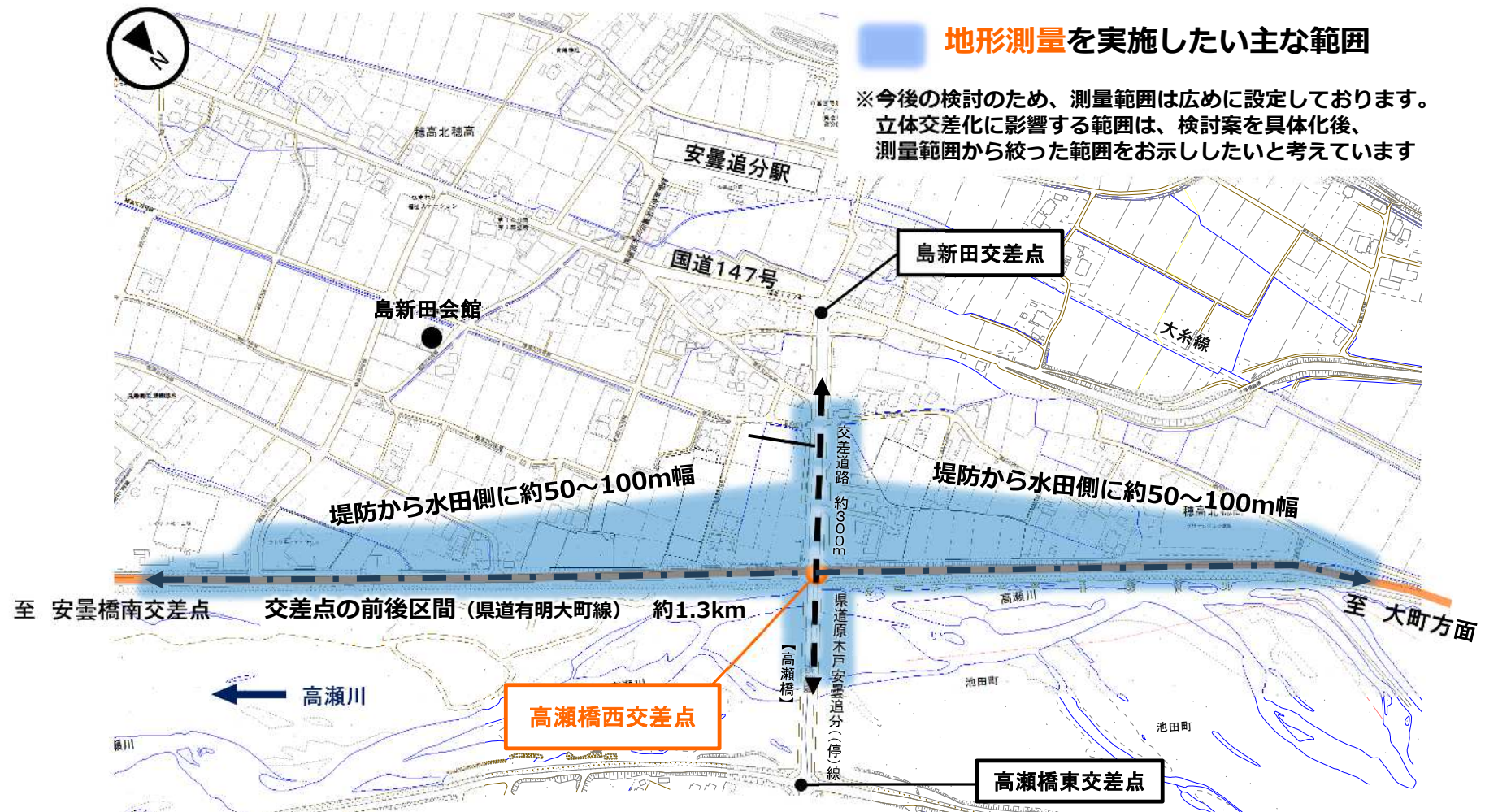
分野	評価項目	評価の視点
I 交通	①高速交通ネットワークの構築	<ul style="list-style-type: none"> ・地域高規格道路としての機能 ・高速交通ネットワーク空白地域の解消 ・長野自動車道へのアクセス性 ・走行性の向上
	②市内交通の円滑化	<ul style="list-style-type: none"> ・通過車両の分離 ・渋滞の緩和 ・通行の容易性
	③安全・安心な生活の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・救急医療施設への搬送の向上 ・交通事故の減少
II 防災	④災害に強い道路	<ul style="list-style-type: none"> ・地震、浸水、土砂災害に対する影響 ・災害時の代替機能
III 環境	⑤景観、環境への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・景観、自然環境への影響 ・地下水への影響 ・生態系への影響
IV 生活	⑥地域住民への影響	<ul style="list-style-type: none"> ・地域分断の影響 ・住宅地への影響 ・日照、振動、大気、騒音の影響
	⑦農業への影響	<ul style="list-style-type: none"> ・農地への影響 ・生産性への影響
	⑧商工業への影響	<ul style="list-style-type: none"> ・商業、工業地域への影響
V 地域経済	⑨交流促進・地域活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の利用しやすさ ・松糸道路から市街地、工業団地、観光地等へのアクセス性 ・安曇野花火への影響
VI 事業性	⑩経済性	<ul style="list-style-type: none"> ・事業費、維持管理費
	⑪施工性	<ul style="list-style-type: none"> ・施工の容易性
	⑫効果の早期発現	<ul style="list-style-type: none"> ・段階的な供用の可能性

3.測量・設計等の作業予定（1）実施方針

○まずは、詳細な地形や建物等の配置を把握するため、**地形測量**を実施したいと考えています

注)測量範囲全てが道路事業として必要な範囲ではありません

○地形測量データをもとに**予備設計**を行い、**立体交差化**の方式を含む複数案を検討します



3.測量・設計等の作業予定（2）作業内容

- 地形測量**は、ドローンによる上空からの測量と、地上での測量を併せて実施いたします。
- 予備設計**は、主に内業にて図面作成等を行いますが、現地確認も実施予定です。
- ➡いずれも**現地へ立ち入らせていただく可能性があります**ので、ご了承ねがいます。

① 上空からの測量(ドローンを活用予定)



測量用ドローン
(レーザ測量機を搭載)

■当日資料へ加筆

レーザ測量を行う際に
支障となる稲や草がなくなる
今秋以降の現地作業を
予定しています

ドローンに搭載したレーザ測量機により、
上空からレーザを照射して、地形データを取得します

② 地上での測量



現地の正確な位置(座標など)を
把握するため、
測量作業の目印となるポイント
を現地に設置します。



上空から地形が捉えづらい場所(建物の影など)は、
地上での補足測量を行います。

○地質調査 (ボーリング調査)

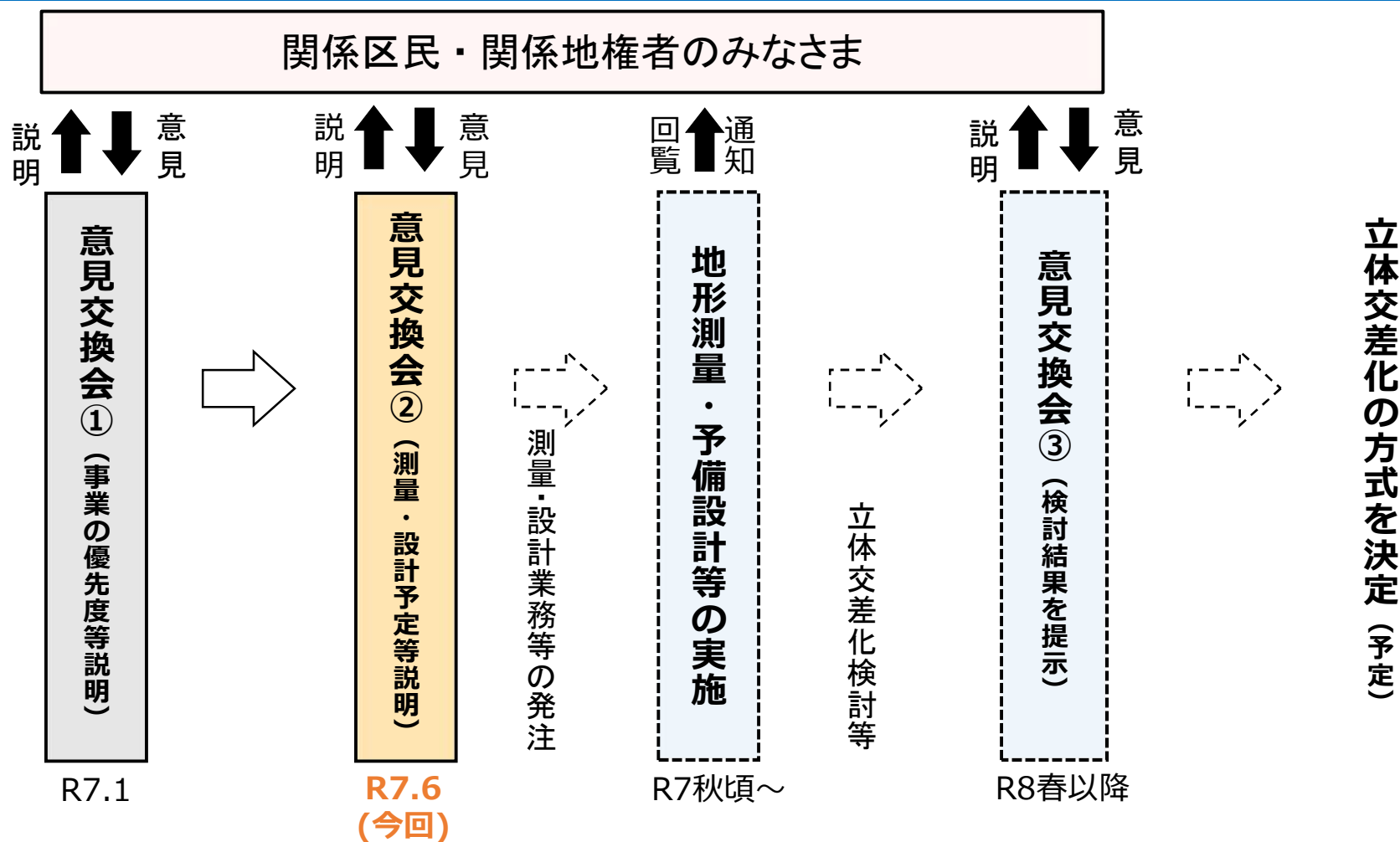


○まずは、地質調査の必要性の検討を行います。

○必要になった際、実施箇所は局所的な範囲のため、
調査地点の関係者へ直接実施の相談をさせていただきます。

4. 今後の進め方

- 今後、地形測量や予備設計等の実施業者や時期が決まり次第、回覧等によるお知らせを行います。
- 次回意見交換会で、**立体交差化の方式***を含む複数案の比較・評価した検討結果を提示予定です。
(※:オーバーパス案またはアンダーパス案)
- 各案を比較・評価する項目等は、**安曇野道路のルート帯選定に用いた項目**を準用する予定です。



■参考：立体交差化の方式（他事例）

●オーバース方式：本線(直進車線)が交差道路の上を通る方式

幅:約60m
延長:約700m



●アンダーパス方式：本線(直進車線)が交差道路の下を通る方式

幅:約30m
延長:約500m

